

きりり人。

ましごすかい たどころともき
益子鈴海さん・田所大樹さん

社会福祉法人 日立市社会福祉事業団 特別養護老人ホーム 日立市萬春園



特別養護老人ホーム日立市萬春園では、利用者の自立支援を目標として、個人を尊重した施設サービス計画を作成し、必要な援助を行っています。益子さんと田所さんは、介護職員として高齢者の日常生活のサポートを行っています。益子さんは、県内の福祉専門学校で2年間学び、3年前に新卒で同施設に就職。福祉の仕事をしたきっかけは、「祖父が難病のパーキンソン病と認知症でほとんど動けない状態になり、看護師をしていた祖母が自宅で介護をしていました。それを見ていて、福祉に興味を持ち、『福祉の道に進むなら教えてあげる』と祖母に言われてこの仕事を志しました」とのこと。田所さんは、全く違う業界から福祉の仕事に転職しました。大学で食品衛生学を学び、飲食業界に就職し8年間勤務、店長や管理職業務を経験した

後に2年前に福祉の仕事に就きました。「地元日立市の高齢化が進んでいたし、日本全体でも高齢社会はわかりきっている未来でした。それに備えて介護について学んでおきたいと考えたことが、福祉の道に進んだきっかけの一つです」と話します。

●気持ちが伝わった時、やりがいを感じる

お二人に仕事のやりがいをうかがうと、田所さんは、「利用者さんからのお礼の言葉がやりがいに繋がります。接客業の経験が長かったので、今の仕事にも通じるものがあると感じています。敬意を払って接することで、相手の心が開けるというのは、利用者さんも同じです。日々学びと発見があるところにもやりがいを感じています」とのこと。

益子さんは「利用者さんに感謝された時、笑顔

「心も成長できることが、福祉の仕事の魅力です」



で接してもらった時や自分がこうしてあげたいという気持ちが伝わった時にやりがいを感じます。

3年目になった今、一人ひとりに合わせたケアの方法を考えながら業務にあたることができるようになりました。利用者さんそれぞれを大切に、業務としてではなく、人として関わるようになったことが大きな変化です」と話していました。

●利用者さんの人生に関わる毎日だから



介護の仕事をしていて嬉しいこと、大変さを感じることは、「初めて食事介助をした時に、あまり食べてもらえず、それでもあきらめずに2、3か月続けて行くうちに、最後の頃はしっかりと食べてくれるようになったことが一番嬉しく思いました。大変なことは意思疎通が難しい方とのコミュニケーションで、学校での学びと現場とはやはり違います。学校は理想を学ぶところ、しかし理想を知っているからこそ、それに近づいていけると思っています」と益子さん。田所さんは、「大変なことは責任の重さ。利用者さんの人生に関わっているのだから、最後の最後まで充実した人生にしてもらうために、自分は何をすべきなのかチームで何ができるのかを考えています。大変さは感じますが、施設というチームで関わっているの、辛いという感覚とは違います」と話してくれました。

これからの未来の介護福祉を担うお二人の目標について、益子さんは「地域に貢献したいという思いが以前からあり、まずは今の仕事を長く続けていきたいということが大きな目標です。今後は、スキルアップを目指して資格取得にチャレンジしていきます」。田所さんは、「まずは、実務経験3年が必要な介護福祉士の資格取得を目指しています。スキルアップして、資格を取っていきたいです」とお二人とも意欲的です。

●感謝の言葉や感謝の気持ちがこの仕事の魅力

福祉の仕事の魅力についてたずねると、田所さ



さんは「やりがいの大きさは、福祉業界は他とは段違いです。利用者さんの日常生活のお手伝いなので、感謝の言葉が心の底から出ているということが実感できますから、やりがいの大きさはすごいです。スキルアップに加えて、心の成長もできることが福祉の仕事の魅力です」と言います。益子さんは、「人から笑顔をもたらえること、感謝の気持ちをもらえることが何よりの魅力」とのことでした。

●仕事を通して、きっと自分が成長できる

福祉の仕事を目指す人へのメッセージは、「人と関わるのが好きな人には向いている仕事だと思います。また、その逆の人でも、人と関わるために介護の仕事をしてもいいと思います。きっと自分が成長できる仕事です」と益子さん。田所さんは、「自信のない人ほど、福祉業界をおすすめしたいです。そういう人は、ぜひ福祉業界に進んでみてください。自分も介護技術はありませんでしたが、仕事に就いてから身につけることもできます。どんな業界からでも、それまでの何らかの経験が活かせます。色々な経験をしたからこそ、利用者さんとわかり合えることもあります」。しっかりと地域に根ざし、これからの高齢者福祉を支えていく情熱を感じられる「きりり人」のお二人です。

